

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	令和元年10月21日 午後7時00分から8時30分まで
3 会場	西部公民館 第5学習室
4 出席者	石塚委員、柄澤委員、小市委員、渋谷委員、菅沼委員、瀧澤委員、竹内健三委員、竹内充委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、堀内委員、宮崎郁男委員、宮島委員、向山委員、母袋委員、横関委員
5 市側出席者	【事務局】小宮山市民まちづくり推進部長、滝沢西部地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、片山地域内分権推進担当主査 【政策企画課】鎌原政策企画課長、中山課長補佐兼政策企画担当係長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月4日

協議事項等

1 開会

2 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて

上田市地域自治センター条例第7条1項及び上田市地域協議会規則第3条第1項の規定により、第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて、市民まちづくり推進部長から上田西部地域協議会へ諮問

3 会議事項

(1) 会長あいさつ

(2) 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」について

- ・政策企画課より資料を基に説明（中山課長補佐）
- ・以下、質疑応答

(会長) 修正が必要かどうか、進捗状況など意見があればお願いしたい。

(会長) 取り組みの内容として次の活動を入れたらどうか。

- ・西部地域協議会で審査をした花いっぱい会
- ・西部地域まちづくりの会、防犯防災部会にて防犯カメラ設置に向け調査検討中。
- ・西部地域まちづくりの会、防犯防災部会にて声掛け運動実施に向け調査研究中。
- ・西部地域まちづくりの会、自然環境生活部会にて史跡行事のデジタル地図作成中。

(委員) 塩尻地域・秋和地域は遊休農地が極端に少ない。営農組合の皆さんが管理をしている。地域特性として入れられるのではないか。他地域ではないことである。

(委員) 営農組合は活発に活動していて、地域で作った米をその地域の人に買ってもらう活動をしている。上塩尻の場合は産地化（ブランド化）を試みている。

(委員) 秋和と上塩尻の営農組合のやり方が違う。上塩尻では県から種をもらい、試験栽培を受けている。3年に1回、麦・豆・米を1年ごとにつくるものが違う。秋和はお米で地産地消をしている。

(会長) 信州上田北国街道振興会の活動が当てはまるのではないかと。現在ある商店を地図上に、現状の姿を後世に残すのは良い活動である。

公民館は完成したので外すということではどうか。

(事務局) 公民館建替えの取組は終わっているので削除が良いと考えている。

西部地域まちづくりの会が発足しているので、行政や地域の連携を推進する部分で、まちづくりの会を絡めた記載にしたかどうかと考えている。

(委員) 以前より行っているホテルについて入れたらどうか。

(委員) 30年ほど前から行っていることが5か年計画に入るものなのか。わがまち魅力アップ事業の補助金も終了しており、現在はボランティアで行っている。新たに計画に組み込んでいただければありがたい。

(委員) わがまち魅力アップ事業の補助金が終了した団体や支援を必要としている団体を、まちづくり計画の中にどのように取り込んでいくのかが課題である。

西部地域まちづくりの会では、学習会や講演会を行っている。夏休みコミュニティスクールの開催も入れてもらうのがよい。

地域防災拠点施設の併設についても検討とあるが、結局併設されなかった。今後は公民館を防災拠点にするのか考えていかなければならないことだと思う。

(会長) なぜ西部公民館が今回の台風災害の際に避難所に指定されたのか。

(事務局) 今年の夏の大雨で警報が出た時も要請があった。元々は防災拠点ではなかったので、その時は拠点と指定されているところで対応してほしいと断った。今回は、緊急ということでの開設要請があった。塩尻小などは洪水の危険性があるということで閉めた。本来、第二避難場所が三中であり、誘導しなければならなかったところ、西部公民館が近いということで、こちらに避難いただいた。公民館建設時は推進委員会の皆様から避難施設として備蓄倉庫も設置してほしいという要望もあった。先ほど計画から削除の話もあったが、防災整備の課題として、地域防災拠点施設へという検討をしてもよいと思う。

(会長) 建設当時から西部公民館に備蓄庫設置の要請は出していた。この地域は三中に備蓄しているが、土砂災害の区域に入っている三中に坂を上がって避難するのか。今回のような災害があれば見直しが必要ではないかと思う。西部地域まちづくりの会と共に西部公民館が防災拠点となるよう検討したい。今後、わがまち魅力アップ事業の予算はまちづくり会議へ移行していただけるということではどうか。

(事務局) わがまち魅力アップ事業の財源がそのまま、住民自治組織へ移行するというわけではない。交付金制度については検討している状況である。

(委員) グリーンベルトを作ってほしい。防犯カメラを付けてほしい。

(委員) 台風の影響もあり、取り組み項目が8項目あるが、⑧の防犯防災の内、防災を⑨として別に設けた方がよい。河川の防災が大事である。塩尻地域で洪水時に使える指定避難所が無い為、今回も西部公民館を開けていただいた。

(委員) 避難で家を空けるということは防犯対策も必要である。そのようなことで、防犯と防災は一体化している。真剣に考えなければならない要素である。

(委員) 項目の順番は優先順位で考えるのか。それならば防災は最優先にしなければならない。以前から話していたが進んでいない。防災マップ作成も大切だが、お年寄りを連れてどうやって避難すればよいか悩まされた。意見を出していただいて順番を上にあげるべきではないか。

(委員) 加えていただきたいのが、空き家対策。高齢化と共に空き家も増えている。

(事務局) ご意見いただいたものを、検討したい。

(委員) 地域包括支援センターを応援する意味で、高齢者や障がい者が作成したものを販売していることをPRしてはどうか。

熊やタヌキ、ジビエ料理を行っている人がいる。産業として出来てくるので大事にしていかないかと思うので提案したい。

(委員) 進捗状況は今までの実績も含まれているのか。進んでいるものも入れるのか。

(事務局) 10か年の内容で作成している。前期が令和2年度までである。終わったものであれば終了になる。現在どうなっているのかということを進捗状況に記入いただく。できていないが令和3年度にはできるかもしれないということで、実績があれば実績も書いていただければと思う。

(委員) 項目を分けて実績を書いてはどうか。

(事務局) 進捗状況の場所へ実績も記入いただきたい。

(会長) 案を作成するので次回検討していただきたい。

(3) 地域協議会の見直し(案)について

市民参加・協働推進課から説明

以下、質疑応答

(委員) 地域協議会は廃止にはならないのか。

(事務局) 現時点では廃止は考えていない。

(会長) 西部地域協議会としては見直し(案)のとおりでよろしいか。

(委員) 異議なし

(事務局) 賛成ではあるが付帯意見をつけるか。

(委員) 若い世代から委員を選出して欲しい。

(委員) 若い人が会議に出席できる工夫をしてほしい。会議の時期、曜日の工夫が必要。

(事務局) 若い世代の選出、出席しやすい運営を付帯意見として付けることとする。

(4) その他

- ・わがまち魅力アップ応援事業の中間報告 (NPO 法人健幸サポートまごの手から説明)
- ・次回の日程 : 11月18日(月) 19:00から

4 閉会